

向があります。左下に寝るのを好みます。夜ベッドに横になったり、目を閉じると、**不安で落ち着かなくなります。寝つきが悪いために、朝の起床時に強い疲労感があります。**目覚めてから十分に活動できるようになるまでに、1時間近くかかります。

寒いのは嫌いですが、戸外の新鮮な空気を好みます。塩に関することは悪化に関連し、塩味、海辺などで症状が悪化する傾向があります。食べ物は、果物や野菜などの軽いものや甘い物を好みます。

Magnesia muriaticumタイプの子供は、両親が夫婦喧嘩をすると、激しく動揺する傾向があります。

AFFINITY

神経系、肝臓、消化器系、骨盤内臓器（子宮、直腸など）に作用します。右側やや優勢レメディです。

CLINICAL APPLICATIONS

■消化器系

- ・消化不良
- ・便秘：小さく硬い便で、力んでもなかなか排泄されません。
- ・下痢：ガスと腹鳴がある腹痛を伴い、牛乳や果物、脂っこい物で悪化します。
- ・肝炎：痛みを伴い、背中の方まで痛みが広がります。肝臓の痛みだけは、横に寝ると悪化します。（一般的には、このレメディは、右下で悪化する傾向がありますが、肝臓の場合には左下で悪化することがあります）。

・胆嚢炎

■泌尿生殖器系

- ・月経困難症：腰痛を伴います。夜に悪化し、腰部を

クッションなどで強く圧迫すると楽になります。

- ・月経不順
- ・頻尿、尿失禁

■神経系

- ・頭痛：主に側頭部の痛みがあります。夜寝る前に目を閉じると、クラクラして、倒れるような感覚を伴います。両手でこめかみを強く圧迫すると楽になります。眼の周りが痛い場合には、眼球を押すと楽に感じます。月経中は悪化します。
- ・歯痛：歯を触ることに過敏になります。上顎の切歯が長くなったような感覚になることがあります。
- ・顔面神経痛：痛みのある部位を圧迫したり、温めると改善します。
- ・不眠症：日中に眠くなります。目を閉じると倒れそのような感覚になります。
- ・感覚神経の異常：風邪をひいた後に、匂いや味を感じなくなります。頭が重く感じます。
- ・手足のしびれ

■その他

- ・不安症
- ・慢性疲労症候群：朝起床時に激しい疲れが残ります。
- ・起床時の疲労：目が覚めても、疲れと眠気が強く、動けません。

MODALITY

➤ 強い圧迫、動くこと、外気。

➤ 塩、海辺、塩味の強い食べ物、海水浴、牛乳、夜、歯生、触れること、右下に寝ること、目を閉じること

Magnesia phosphorica リン酸水素マグネシウム三水和物 [さまざまな痛み]

Magnesium phosphate-MgHPO₄·3H₂O

BACK GROUND

マグネシウムは、カルシウムと併せて、骨を形成しているミネラルの1つです。リン酸と結びついたリン酸マグネシウムとして骨の中に分布しています。カルシウムの吸収を助ける作用をもっており、心臓や筋肉の働きを整えたり、精神を安定させる働きがあります。

生体内におけるマグネシウムの約55%は、リン酸

マグネシウムとして骨格に存在し、筋中に27%、その他は細胞内や外液中にも分布しています。マグネシウムは細胞内に存在し不足すると骨組織から放出されます。マグネシウムは骨から放出されるときに、マグネシウムの5倍のカルシウムもいっしょに放出されるため、余分なカルシウムが細胞内に進入して筋肉を萎縮させます。

ATPのエネルギーを利用する酵素には、マグネシウムを補助因子とするものが多く存在しています。マグネシウムは、各種の酵素の構成成分として、また神経伝達、イオンの転送、遺伝情報伝達の重要な段階などに関与しています。神経や筋肉の興奮性では、カルシウムと拮抗的に作用します。低マグネシウム血症では、痙攣や昏迷が起こります。また、痛みに弱い「痛がり体質」の人は、ふつうの人に比べて、血中のマグネシウム濃度が低いことが知られています。

また、体内のリンの大部分は、骨や歯の中でリン酸カルシウムあるいはリン酸マグネシウムとして存在するほか、筋肉、神経、脳、肝臓など、その他のすべての組織に含まれています。その役割は多様ですが、そのうちの1つに神経の伝達を助ける働きがあります。

食事中のリンの量が過剰であると、血液中のカルシウム濃度が低下します。これは、過剰なリンがカルシウムの腸管からの吸収を阻害するためです。

MATERIAL

リン酸ナトリウムと硫酸マグネシウムを水中で混合し、結晶化させたもの

FIRST PROVING

W.P.WessehoeftとJ.A.Gann (『Medical Advances』, 1889). Magnesia phosphoricaはSchuesslerによって組織塩の1つに選ばれています。

AFFINITY

Magnesia phosphoricaの親和性は主に中枢神経系、筋肉にあります。その中でも、とくに感覚神経系と運動神経系の神経筋シナプスが影響を受けます。右側優勢レメディです。

CLINICAL APPLICATIONS

■神経系

- ・各種神経痛
- ・頭痛：とくに頭の右側が痛くなる傾向があります。後頭部や首の後ろ側から突き刺すような痛みが始まり、頭全体に広がっていき、右眼の奥で止まります。顔は紅潮して、ズキズキと痛みます。

- ・顔面神経痛：とくに右側。痛みのあるチック症状を伴います。暖めて患部を圧迫すると楽になります。
- ・歯痛：冷たい物を飲むとズキンと痛みます。熱い飲物で楽になります。味覚が変に感じる場合があります。
- ・坐骨神経痛
- ・耳痛：寒気に曝されたり、冷たい水で顔や首を洗うと痛みが増します。
- ・心臓の痛み：心疾患治療の確認が必須。

■横紋筋の痙攣

- ・筋痙攣、書痙：腕や指、手、手首などに突き刺すような痛みを伴う痙攣が起きます。とくに、手を使う職業、作家やコンピュータ・プログラマー、ピアニストなどの音楽家、彫刻家などでは重要なレメディです。
- ・発作性のしゃっくり
- ・こむら返り

■平滑筋の痙攣

- ・腸の痙攣：腹痛を伴う下痢などで、鋭い痙攣があります。主に体の右側に起こります。激しく痛み、痛みは体を二つ折りにすると楽になります。痛みは突然始まり、すぐに消えていきます。
- ・肝臓、腎臓の痙攣
- ・月経困難症：強い痙攣性の痛みを伴います。圧迫と温熱で楽になります。
- ・出産時の痛み
- ・痙攣性の咳

■その他

- ・低マグネシウム血症の補助
- ・ビタミンE欠乏症の補助

MODALITY

- **温めること**、体を二つ折りにすること、足を抱える体位、**患部の強い圧迫**、熱など
- **寒さ**、冷水浴、隙間風、夜、右下に横になること、疲労、牛乳など

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Belladonna, Gelsenium, Lachesis